

法相の「死刑執行命令書署名拒否」発言に賛同し支援する岡崎集会

杉浦法相は就任会見で、死刑執行命令書への署名拒否を明言しました。

彼はその理由を宗教的心情、真宗門徒(信者)として、親鸞の教えを聞いてきたからと語っています。

翌日、発言の撤回を余儀なくされましたが、
彼の本心は……。



私たちは、

彼の発言を支持し、

支援の集会を開きます



日時 2006年3月4日(土) 午後3時～

会場 真宗大谷派三河別院 岡崎教区会館2F ホール (詳細地図は裏面)
(岡崎市梅園町1-1-2 0564-22-2136 (岡崎教務所))

講師 玉光順正さん (真宗大谷派光明寺住職)
安田好弘さん (弁護士・フォーラム90)

主催 死刑廃止を願う宗教者と市民の会

共催 真宗大谷派岡崎教区有志/ 無倦の会/
真宗大谷派死刑廃止を願う会/フォーラム90
死刑廃止フォーラム in なごや/
死刑廃止フォーラム in 静岡

アムネスティ・インターナショナル日本/「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク

お問い合わせ ☎0564-51-0916(覚照寺・天野)/☎0565-88-1972(明勝寺・杉浦)

死刑廃止を願う宗教者と市民の会事務局

刈谷市熊野町6-25 ☎0566-21-1644 安養寺内(三浦)



法相の「死刑執行命令書署名拒否」発言に

賛同し支援する岡崎集会の御案内

昨年 10 日の内閣改造で法務大臣となった杉浦正健氏は、就任会見で、死刑執行命令書への署名拒否を明言しました。翌日その発言の撤回と釈明会見を開く事を余儀なくされましたが、真宗の熱心な門徒(信者)であった祖母の影響を受け、親鸞の教えを聞いてきたことで、彼自身そういう考えを持つに至った事を明らかにしています。彼は岡崎市の真宗大谷派寺院のご門徒です。

真宗大谷派(東本願寺)は、1998年6月25日の死刑執行に抗議し「死刑制度を問いなおし死刑執行の停止を求める声明」を宗務総長名で発し、死刑の執行停止と議論の場を開くことを提起しました。合わせて死刑囚の絵画を展示する、「いのちの絵画展」をおこない、連続講座「死刑制度と私たち」を開催し、死刑制度を議論する具体的な取り組みを行いました。そして2002年10月には、死刑廃止を宗派の意志として明確に打ち出し、本山での2回目の「絵画展」とシンポジウム「死刑廃止に向けて」を開催しています。

しかし、いかに杉浦法相が宗教的信念、心情から死刑執行を拒否したくとも、釈明会見を開かざるを得なかった今の状況を考えると、法務省は彼に苦渋の選択を迫るでしょう。そこで、彼と同じ親鸞の教えに生きる岡崎の宗教者が声をあげ、死刑廃止を願う市民と共に、杉浦法相の「死刑執行命令書署名拒否」発言に賛同し、支援する集会を開催することと致しました。

世界の潮流は死刑廃止に向かっており、日本は国連から死刑廃止に向けた努力を行うようにとの勧告を受けています。今だからこそ、死刑の執行を停止しようという、杉浦氏のような法相が求められています。

今の政治家にあって、まれに見る人道的な思想を持つ杉浦法相に縁のある、岡崎市の市民、宗教者の皆様に、集会の主旨への賛同と参加を呼びかけます。

死刑廃止を願う宗教者と市民の会

会場案内地図 名鉄本線 東岡崎駅から徒歩15分、東岡崎駅から名鉄バスで市役所前下車、徒歩5分

※JR 東海岡崎駅からはバス等の便が悪いので、JR 名古屋駅/JR 豊橋駅で名鉄本線に乗り換え、東岡崎駅から来ていただいた方が便利です。

東名高速、岡崎 IC から名古屋方面(1号線)、5分

